

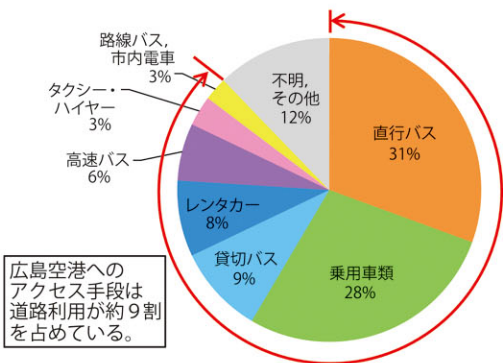
施策 1 広域的な交流・連携基盤の強化

取組の方向

- 企業活動を支える物流基盤の整備
- グローバルゲートウェイ機能の強化

広島空港アクセスの機能強化の重要性

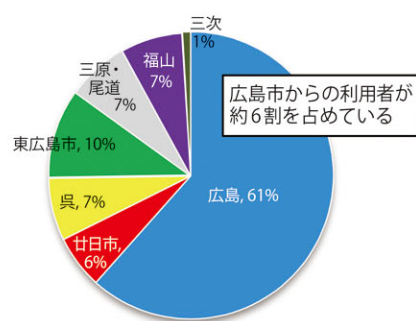
空港アクセスの手段別割合【H25年度】



広島空港へのアクセス手段は道路利用が約9割を占めている。

出典 国土交通省平成25年度航空旅客動態調査より作成

広島空港利用者出発地（国内旅行・県内利用者）



広島市からの利用者が約6割を占めている

出典：平成25年度 広島県空港振興課調査より作成

施策 2 集客・交流機能の強化

取組の方針

- 観光周遊を促す道路ネットワークの形成



【観光周遊を促す道路ネットワークの形成】

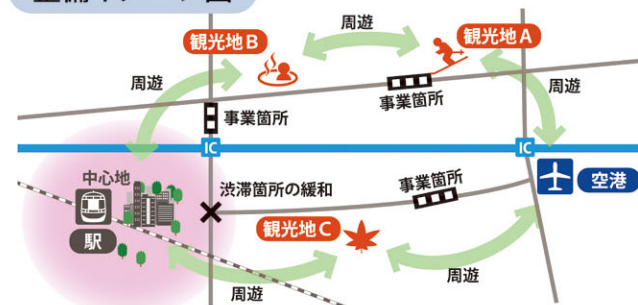
- a: 高速ICと観光地をつなぐ道路
- b: 広島空港や市町中心地と観光地をつなぐ道路
- c: 隣接し合う観光地をつなぐ道路

※観光地とは拠点の観光施設を有する地域

観光地を案内する道路標識整備

道路標識を適切に配置し、観光地までわかりやすく案内します。

整備イメージ図



施策 3 災害に強い道路ネットワークの構築

取組の方針

- 緊急輸送道路ネットワークの機能強化
- 災害対応能力の向上に資する多重型道路ネットワークの形成

● 法面対策の実施

法面 9,171 箇所を点検・評価し、550 箇所を要対策箇所と位置付け重点的に対策を推進しています。また、道路防災ドクター制度を活用し、きめ細やかな診断に基づき迅速な対策を行っています。

H25・H27道路法面点検の結果

対策区分	箇所数
要対策	550箇所
経過観察	6,083箇所
対策不要	2,538箇所
合計	9,171箇所

- ・ 異常気象時には、事前通行規制を徹底することにより、道路利用者の被災を未然に防止します。
- ・ 要対策、経過観察箇所については道路巡視業務、道路パトロールを徹底することにより、重点的に日常の目視点検を行い、被災につながる予兆の早期発見に努めます。

● 橋梁の耐震補強の実施

今後想定される大規模地震に対し、落橋などの致命的な被害を防ぐとともに主要な道路においては地震後も物資の輸送等が速やかに行えるよう耐震化を推進しています。



橋梁耐震工事例(落橋防止)

● 道路改良による防災対策

バイパス整備等の改良工事により、落石や崩壊等のリスクを回避し、災害対応能力の向上に資するとともに、将来的な維持管理費の低減によるコスト削減にも努めています。



道路改良工事例(バイパス整備)

施策 4 総合的な交通安全対策の推進

取組の方針

- 通学路における交通安全対策の推進
- 交通事故危険箇所の対策

通学路における主な安全対策

歩道整備

○歩道の整備



歩道がなく大型車通行時に危険
歩行空間が確保され通学が安全に

事故危険箇所の主な安全対策

車両の速度を抑制する事故対策の実施

○急カーブへの滑り止めカラー舗装の整備



下りの急カーブで事故が多発
車両速度が抑制され事故が減少

通学路の安全対策については、教育委員会、警察等と連携し、点検による危険箇所の抽出、対策の検討、実施、効果の把握、改善・充実（PDCA）を繰り返すことにより、継続的な安全性の向上を図ります。